

文学部

香川キャンパス

アドミッション・ポリシー

3 学科でそれぞれ、日本文化、英語圏の文化及び日本の文化遺産に関する幅広い教養と専門的な知識を身に付けた、応用力のある思考と行動ができる人材を育成します。「自立協同」の建学精神に則り、教員と学生あるいは学生同士が議論を交わし、主体的に学びを深めようと望む人を求めます。

1 学部の求める人物像

- (1)感性に富み、問題意識を豊かにもつ、積極性のある人。
- (2)目標をもち、継続的な努力ができる人。

2 入学試験の基本方針

教科の履修と達成度を直接測る一般入試や大学入試センター試験利用入試に加えて、人物像に見合う意欲のある多彩な人を受け入れるために推薦入試及び AO 入試を実施しています。

一般入試、大学入試センター試験利用入試では各教科の基礎が身に付いていることを評価し、推薦入試及び AO 入試では高い学習意欲や学びへの明確な目的意識に重点をおいて評価します。

3 各学科の求める人物像・高等学校等で修得が望ましい内容

■文化財学科

求める人物像：文化財や歴史・地理に対する旺盛な好奇心・探究心を有する人を求めます。

高等学校等で修得が望ましい内容：日本史や地理などの履修を通して、文化財や遺跡の成立の背景となる歴史的・地理的事実や資料を読み解くための基礎的な力を身に付けていること。

■日本文学科

求める人物像：日本文学・語学に対する旺盛な好奇心・探究心を有する人を求めます。

高等学校等で修得が望ましい内容：国語総合における古文と現代文の履修を通して、日本の文学作品を味読・分析するのに必要な読解力と文法力を身に付けていること。

■英語英米文化学科

求める人物像：英語や英語圏の文化に対する旺盛な好奇心・探究心を有する人を求めます。

高等学校等で修得が望ましい内容：コミュニケーション英語や英語表現の履修を通して、特に英語によるリーディングやライティングに関する基礎的な力を身に付けていること。

i-チャレンジ型

選考方法	小論文	「志望する学科のアドミッション・ポリシーをふまえ、次の3つのテーマ全てについて述べてください。」(1,200字程度) ①選んだ学科で学びたいことは何ですか。 ②あなたの性格・趣味や夢になったこと、得意・不得意科目、高校で意欲的に取り組んだ活動などから、どのような学生生活を送りたいですか。 ③大学で学んだことを活かして、将来社会でどのような分野で活躍したいですか。
	メール交換等	小論文に基づき、質問をメール等で行います。回答をメール等で返送してください。(3回程度実施します。)
学力把握方法	小論文・メール等の回答・通知表の写し(または成績証明書)を参考とします。	

面談型

面談・体験方法	連絡	エントリーシートの受け付け後、面談場所や日時について相談の電話をします。
	体験学習・面談	2回にわたって体験学習と面談を併せて行い、そのプロセスを通して適性や意欲を判定します。体験学習の内容は各学科で異なりますが、少なくとも1回は、オープンキャンパス(6回開催)の体験学習に参加することを原則とします。また、体験学習と併せて面談も実施します。各学科が実施する体験学習については、下記を参照してください。
	文化財学科	体験学習と面談について(1)から(3)のいずれかを選択してください。 (1)オープンキャンパスの体験学習に2回参加。 (2)1回はオープンキャンパスの体験学習に、残りの1回は文化財学科が実施する体験学習に参加。 (3)オープンキャンパスに参加できない場合には、文化財学科が実施する2回の体験学習に参加。
	日本文学科	体験学習と面談について(1)または(2)のいずれかを選択してください。 (1)オープンキャンパスの体験学習に2回参加。 (2)1回はオープンキャンパスの体験学習に、残りの1回は日本文学科が実施する体験学習に参加。 ※面談を体験学習と併せて実施するか、別途行うかを、相談のうえ決定します。
英語英米文化学科	体験学習と面談について(1)から(3)のいずれかを選択してください。 (1)オープンキャンパスの体験学習に2回参加。 (2)1回はオープンキャンパスの体験学習に、残りの1回は英語英米文化学科が実施する体験学習に参加。 (3)オープンキャンパスに参加できない場合には、英語英米文化学科が実施する2回の体験学習に参加。	

学力把握方法	文化財学科	<p>高等学校等卒業者および卒業見込みの者 調査書の「世界史」、「日本史」、「地理」、「国語総合」のいずれかの科目が評定 3.0 以上であることとします。</p> <p>高校卒業程度認定試験を受験した者 面談時の基礎学力を問うための試験及び高等学校卒業程度認定試験合格（見込）成績証明書を参考とします。</p>
	日本文学科	<p>高等学校等卒業者および卒業見込みの者 調査書の「国語総合」の評定が 3.0 以上であることとします。</p> <p>高校卒業程度認定試験を受験した者 面談時の基礎学力を問うための試験及び高等学校卒業程度認定試験合格（見込）成績証明書を参考とします。</p>
	英語英米文化学科	<p>高等学校等卒業者および卒業見込みの者 調査書の「コミュニケーション英語Ⅰ」の評定が 3.0 以上であることとします。</p> <p>高校卒業程度認定試験を受験した者 面談時の基礎学力を問うための試験及び高等学校卒業程度認定試験合格（見込）成績証明書を参考とします。</p>

作文型	
作文・面談方法	<p>各学科の指定するテーマで作文にまとめてください。</p> <p>文化財学科 (800～1600字程度) これまで遺跡や博物館などで文化財を見学した経験について。</p> <p>日本文学科 (用紙を横置きにして縦書き使用, 1600字程度) 自分の得意とする事柄, 大学入学後にやってみたいと思うことを関連させてまとめてください。</p> <p>英語英米文化学科 (800字程度) なぜ英語を学びたいか。</p>
	<p>面談 エントリーシートと作文を受け付け後, 面談場所や日時について相談の電話をします。</p>
	<p>学力把握方法 調査書の全体の評定平均値が 3.0 以上であることとします。</p>

入学前教育を高等学校等の教育に支障を及ぼさない範囲で実施します。入学後、専門課程での学習に必要な基本的な学力や学習への取り組み方、学習スキルを習得することを目的とします。

具体的な内容は、各学科で異なります。また、原則として通信添削による個別指導で3回以上課題提出を求めます。参考までに、各学科のモデルケースを下記に示しますが、詳しい内容は、面談の際や入学前教育を始める前に、各学科の担当教員と話し合いをして決定します。

入学前教育

■文化財学科

次の項目で実施します。

- 専門課程での学習に必要な基本的学力の再確認と補強を目的として、日本史についての課題を準備します。
- 専門課程での学習の取り組み方を身につけるために、郷土の歴史や文化財などについて調べ、レポートにまとめてください。

■日本文学科

専門課程での学習に必要な基本的学力の再確認と補強を目的として、入学予定者の希望と話し合いの結果に基づき、主に以下のテキストを中心として入学前教育を実施します。

- 古文編—『古文解釈はじめての一步一步から解釈へ—』（関谷浩著 駿台文庫）
- 現代文編—『高校生のための文章読本』（梅田卓夫他編 筑摩書房）

■英語英米文化学科

専門課程での学習に必要な基本的な学力の再確認と補強を目的として、「文法」、「英作文」、「英文講読」などの課題を準備します。